

28年 4月 25日

## プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 土田の里

代表者・役職名 氏名 藤田 佳伸

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

真如苑「shinjo プロジェクト」

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

子供達の送迎に公用車があれば安全面の確保ができます。又生活面の向上や行動範囲の拡大につなげることも可能であり、就職、アルバイトもしくは学校で緊急的に何か起きた場合でも職員の行動に敏感さが上がると思います。自立援助ホームの収入源である措置費(事務費)は子供一人当たり金額が決まっています。措置費からは人件費・家賃・光熱費・日用品の支払いに回している為支出がかさみ余裕がありません。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

現在自立援助ホームソレイユには公用車がなく入所している子供達の送迎等には職員の自家用車を使用しています。個人の自家用車の為に子供達が乗っている状況で万が一の事が起きた事を考えると、どうしても使用回数に限界があります。支援援助が受けられる公用車があれば今後は気兼ねなく子供たちの送迎、買い物、レジャー等の行動範囲が広がり生活の向上が期待できます。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

公用車を購入することによって生活面で必要な買い物など職員と一緒に行き交流が図れ子供達の思いなどを聞くことができ職員との絆がより強まった様に思います。  
アルバイト、学校行事等で遅くなるのが有りますが公用車でお迎えに行くことができます。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

公用車をいただいたことにより、急な体調不良、学校行事等での送迎、生活面での必要な買い物等で利用者さんとスタッフ共の便利に利用でき、有りがたい限りです。又、公用車が常駐していることはいつ何時にでもすぐ対応することが可能だというスタッフに安心感をもたらしています。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

